

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.138

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [info@chiba.life-line.tv](mailto:info@chiba.life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替: 00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 「正論ではなく聖論を」

千葉ライフ・ライン事務局長 OMF チャペル・オブ・アドレージョン牧師 池田 創造

2013年の受難節に入りました。私たち罪人のために、ゲツセマネで精神的・霊的な苦しみに伴う祈りをささげられ、十字架において肉体的な苦しみを味わってくださったイエス様を改めて覚えたいと思います。

私たちもまた、日々の生活のなかであらゆる苦しみを体験します。家庭や仕事、教会などの人間が集まる場所においていつも苦悩があります。病や介護、経済的な必要、混迷を極める社会情勢など、苦しみもたらす問題は、いくら慎重かつ熟慮しつつ歩んでいても私たちの前に必ず現れます。信仰をもって神を見上げて歩むことを“正論”として掲げている私たちであっても、苦しみの圧倒的な支配とその解放を自力でもたらそうとする行為で、行き詰り、疲れ果て、途方に暮れてしまうのです。

バビロンから約束の地に帰還したイスラエルの民も、神に対する知識という“正論”を持ちつつも暗闇の中を歩んでいました。一度荒れ果てた地を復興すべく一生懸命働きましたが、どれだけ苦労して働いても、豊かな収穫がもたらされ、生活が楽になることはありませんでした。そのような状態のなかで、預言者ハガイは「自分の家のために走り回って」（ハガイ書2:9）することで忙しくしている彼らに、神を礼拝する場である神殿が瓦礫のまま放置されていることを知らせました。自分たちの生活が苦しくて神殿まで手が回らない、というのが彼らの言い分ですが、ハガイは神の神殿を優先にしないので生活が苦しいのだ、と指摘したのです。「そのとき、主の使いハガイは、主から使命を受けて、民にこう言った。『わたしは、あなたがたとともにいる。－主の御告げ－』主は、シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルの心と、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアの心と、民のすべての残り1の者の心とを奮い立たせたので、彼らは彼らの神、万軍の主の宮に行って、仕事に取りかかった。」（ハガイ書1:13-14）。「わたしは、あなたがたとともにいる」というシンプルなメッセージで心が奮い立たされた者たちは、その変わらぬ厳しい状況のなかであって、神殿工事を始めました。それでも、着工から問題は絶えません。第一神殿の壮麗さを覚えている老人が嘆き、資金や資材が足りない現実もありました。再び神のことばが臨みます。「『しかし、ゼルバベルよ、今、強くあれ。－主の御告げ－ エホツァダクの子、大祭司ヨシュアよ、強くあれ。この国のすべての民よ、強くあれ。－主の御告げ－ 仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ。－万軍の主の御告げ－』」（ハガイ書2:4）。これは“正論”ではなく、“聖論”です。神様は無謀なことをその民にやらせません。「銀はわたしのもの。金もわたしの」（ハガイ書2:8）とおっしゃる神様は、ペルシャ王国を通してすべてを備えられたのです（エズラ記6:1-12）。

千葉ライフ・ラインも主から私たちに与えられている仕事の一つです。みことばに奮い立たされ、共に主のために働きましょう。神様からの祝福は必ず注がれます。

お茶の間に福音！

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。